

豊中駅前まちづくり推進協議会では、豊中駅周辺のみなさまや来街者の方々に、よりまちへの親しみを持ってもらうための豊中駅前の魅力づくりの試みとして、まちのそれぞれの通りに名前を付けてみたらどうかと考えました。

スクランブル交差点から北に伸びる通り周辺のお店に集まっただき、意見交換を行いました。その内容についてお知らせします。



日時：2024年11月20日（水）14時～15時

場所：喫茶ほえむ

出席者：ほえむさん、GETTENさん、Le Reposさん、花の部屋さん、我巢灯さん（順不同）
（協議会）小林 （協議会アドバイザー）馬場、羽田

■皆さんから出された意見

<通りの周辺の良いところ>

- ・生まれ育った場所で昔からなじみのある場所。地元の人の「憩い」を大事にしたいと思って店を始めた。
- ・飲食店が何軒か集まっているところ。
- ・駅東のこの近辺の人には知られている。
- ・50年くらいやっている古いお店もある。
- ・我巢灯さんでは、ジャズライブをやっている。
- ・小学生の帰りの通学路にもなっている。

<通りの周辺の課題に感じる点>

- ・一番街などで飲食する人には知られていない。「意外とお店があるんやな」と言う人もいる。
- ・大池小学校区と上野小学校区で分かれる。上野の人たちは千里中央に行くほうが多い。
- ・裏通り感がある。
- ・バス通りから見えない。スクランブルの脇で見えづらい。花の部屋さんを知らない人もいる。
- ・夜が暗くて街灯も少ない。奥に店が無いように見えてしまう。
- ・車の行き来が多い。

<通りの特徴>

- ・目的を持ってきてもらうような場所。1回来たお客さんがこの他のお店にもハシゴしてくれたら。
- ・赤ちょうちんが象徴的。
- ・横丁感がある通り。ロマンチック街道などとは規模が違う。

<豊中駅前の印象>

- ・一番街は街灯に名前が書いてあるが、銀座通りも含めて印象が弱くなっている。昔は、「ニチイに行く」＝「豊中に行く」というような言い方があった。
- ・お店がころころ変わる。

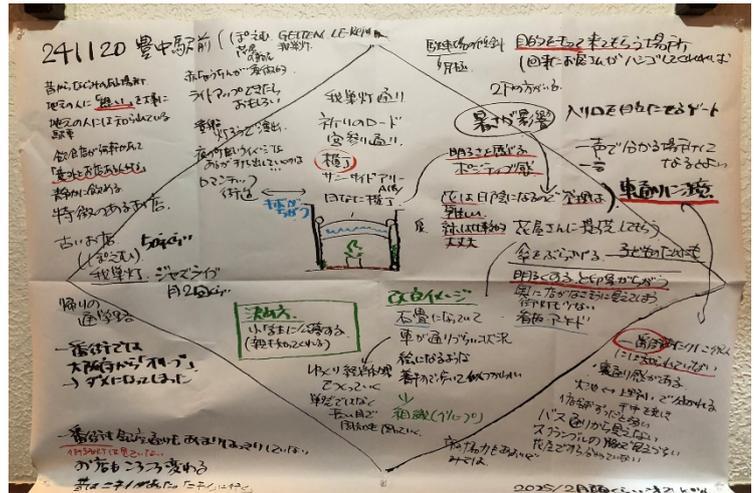
<通りの名前をつけることについて>

- ・1店1店で広報等をしようと思うと力が弱い。
- ・名前が付いて一言で分かる場所になるとよい。
- ・名前をつけること、募集をすることでイベント実施とは違うゆっくりとした経済効果をつくっていく。長い目で周知を図っていくことができるのではないかな。
- ・絵になるような場所になっていくとよい。協議会でやっていた着物でまち歩きなどで似つかわしい場所になれば。

<アイデア> (決まったものではないです)

- ・サニーサイドアレー ・日向横丁
- ・宮参り通り ・祈りのロード など

<当日の記録>



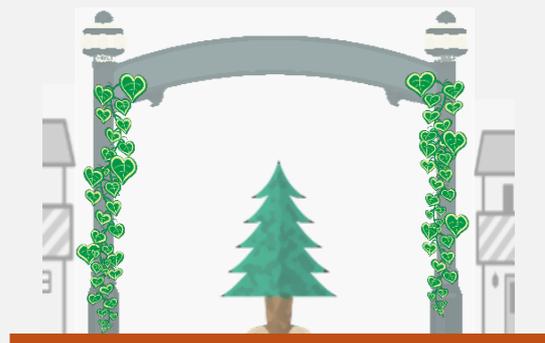
<通りの名前の付け方>

- ・この通りは、大池小学校の児童の帰宅時の通学路にもなっている。時間帯によっては、大勢の児童が多く通る。身近に感じてもらうためにも、小学生に公募してはどうか。
- ・小学生に投げかけるときは保護者も一緒に考えてくれるので、お店なども知ってもらえるのでは。
- ・募集するためには、店側の通りに対する想いやコンセプトをしっかりとっておくことが重要。

<改良イメージ>

- ・石畳にすると雰囲気が変わる。石畳になると車が通りづらい状況になる。
- ・花を並べるといいのでは。
- ・花は今年の夏のような暑さではなかなか世話が大変。花のないみどりであれば、比較的暑くても大丈夫。
- ・昔、一番街では、大阪府から提供されたオリーブを店ごとに植えていた。ただ、時間も経ってダメになってしまったところが多い。
- ・入り口を目立たせるゲート感も重要。
- ・外国でやっているような傘を前面にぶら下げるなどができると面白い。(できるかどうか分からないが)

<出された意見のイメージ>



<集まりについて>

- ・色々な取組をしたり、働きかけをしていくためには、組織 (グループ) や仕組みも必要。
- ・まずは、定期的集まる中で色々な意見交換、情報交換ができる場所から始められたらよい。
- ・次回は2月の頭くらいにやってはどうか。
- ・この通りに面するお店の人や関心のある人にも声をかけてみよう。
- ・ニュースをつくって、話し合いの経過が分かるようにしていこう。